

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
- ◆ 出席委員：新野・川口・久我・佐藤・高橋（武）・武本・渡辺委員 …7 名
- ◆ オブザーバー：保安院／今井所長 嶋崎保安検査官
エネ庁／七部所長 東電／森 GM
- ◆ 事務局：柏崎市／阿部主査 広報センター／押見事務局長 石黒主事

1 月・2 月定例会日程について

- ・第 67 回 1 月 14 日（水）18:30～ 柏崎刈羽原子力防災センター
- ・第 68 回 2 月 4 日（水） 18:30～ 産業文化会館

○ 11 月定例会内容について

〈委員〉

- ・住民にとってどの点がわかりにくいのか、どこがもう少し説明があるのかなど、整理する必要があるのではないか。
- ・ある項目に対して、東電の見解、保安院の見解、県の見解など、ばらばらに出ている見解や現況を整理して説明してもらえるとわかりやすいのではないか。
- ・3 号機排気筒放射線モニタサンプリング配管の損傷について東電から説明してもらうのはどうか。
- ・発電所視察については 2 班にわかれたので、全体の感想や主な質疑などの共通認識を持つ必要があるのではないか。

〈保安院〉

- ・事実経過の説明は国、県、東電がそれぞればらばらに報告するとまたわかりにくくなるので、テーマを絞った方がよいのではないか。
- 国、県、東電に事実経過を説明してもらう。テーマは海域の活断層、陸域の活断層、基準地震動、地殻変動の 4 項目。
 - 発電所視察については、前回定例会以降の動きの中で報告、すりあわせの時間をとる。それに対する質疑などあれば出してもらう。
 - 3 号機排気筒放射線モニタサンプリング配管の損傷について、また一般的なモニタリングについての説明を前回定例会以降の動きの中で東電から説明してもらう。

○ 12 月定例会内容について

- ・11 月の定例会内容を受けて検討する。（予定議題は建屋、設備、機器関連）

委員改選について

〈会長〉

- ・委員任期が平成 21 年 4 月末日で終了することに伴い、第 4 期どうするかそろそろ考えなければならない。

〈委員〉

- ・推薦団体の方針、意向もあることなので、前回同様アンケートを実施し、市に意向確認してはどうか。
- ・会の出席が50%以上可能な方を推薦してほしい。
- 任期終了に伴う事前アンケートを実施する。

視点第32号内容について

〈委員〉

- ・内容が多いときは裏表紙の「みんなの広場」を次回にまわし、裏表紙も使用してはどうか。
- ・トピックス欄はいらぬのではないか。ホームページにアップすればよい。
- トピックス欄の内容はホームページ上にアップし、紙面上はカットする。
- 63回、64回原稿は26日までに修正案を事務局へ提出する。

次回運営委員会日程について

- ・11月12日（水） 18：30から 柏崎原子力広報センターを予定（変更の可能性もあり）

その他

〈事務局〉

- ・地域の会の県外視察時に、新聞社から同行取材が可能かという問い合わせがあった。どう対応するか。

〈委員〉

- ・原則、公開なので断る理由はない。ただし訪問先の都合もあることなので事前に問い合わせをしてもらった方がよい。
- ・視察のじゃまはしないでいただきたい。
- ・「地域の会」をよく理解した上で、記事にしていきたい。